

先端技術を活用した少子高齢化対策

チーム名：おむすびーず

あきぼよ

焼きハムたろう

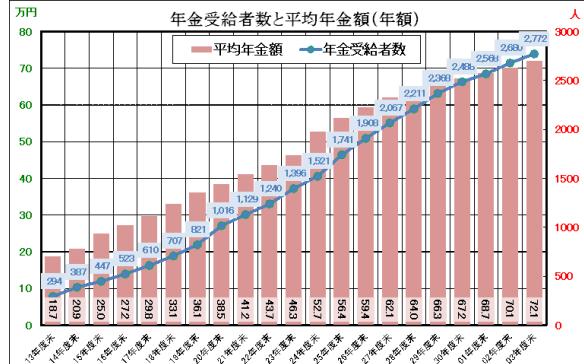
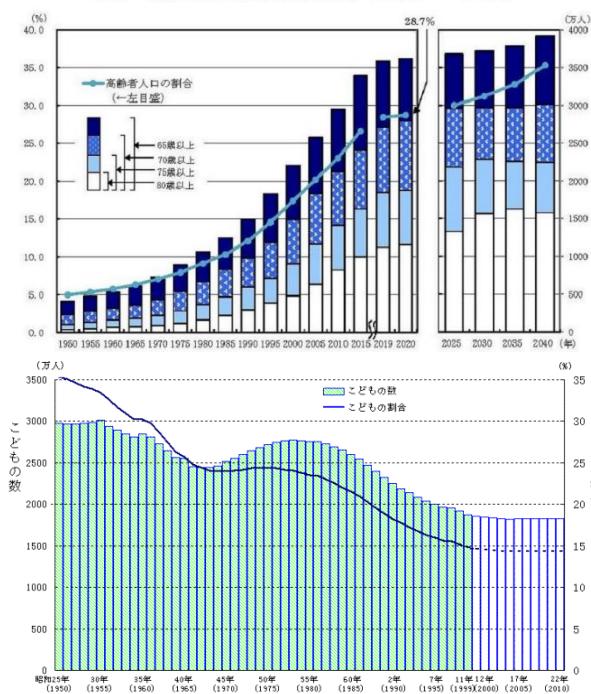
あーるわい

私たちは、少子高齢化についてまとめました。少子高齢化が起こす問題を挙げてみると、介護施設の需要の高まりや、人手不足になること、国民（国）が負担する年金の量が多くなるなどの課題が挙がりました。私たちはその中の年金問題と子供の減少に着目しました。

年金問題

今の日本の平均年金受給額は三井住友銀行の調べによると、月に五万六千円だそうです。公的年金受給者の年金総額は、令和4年度末で 55兆7,211億円と、とても多いことがわかりました。平成20年度末は18兆421億円で、ここまで上がっていることから今後も高齢者が多くなり(=年金も多くなる)、子供を産む人が少なくなると考えています。

図1 高齢者人口及び割合の推移（1950年～2040年）



そこで国で子育てを支援するためのお金に余裕を作る必要があると考えました。年金を受給している理由は、高齢者が自分で収入を得られず、個人や家族だけで対応しようとしても、必要な額の貯蓄ができなかったり、貯蓄のために必要以上に生活を切り詰めたりすることが原因なので、自分で

仕事をして収入を得られるようにしてもらい年金を削減しようと考えました。

高齢者は日本固有の文化をよく知っている方が多いと思うので次の世代にそのことを伝えることができると考えました。また、高齢者の方たちが、体への負担が少なく高齢者でもできる仕事をする機会を作ったり、問題も挙がっているので先端技術を活用するのもいいと思いました。そこで私たちが考えたのは、高齢者の方がバスガイドになって外国人や若い世代に、ネットを通して日本の良さを伝える「オンラインバスツアー」です。

ここで言うオンラインとはバスガイドがバスから見た風景をネットで配信しながらガイドし、それを様々な人々に家などから視聴してもらうというものです。また、平面的な画面だけでなく、先端技術を活用したVRゴーグルでリアルに体験し、日本の魅力をほぼそのまま感じられるようにもしたらしいと考えました。

オンラインバスツアーに限らず、他にも高齢者の方でも日本の経済などに貢献できる仕事があると良いなと思います。

このような仕事があることによって高齢者が自分で収入を得られるようになり、年金問題が解消し、お金が子育てを支援するために使えるようになると思います

子供のいる生活

次に子供を産みたくない理由について調べました。

調べると、「子供がいる生活が考えられない」「子供が好きではない」「子どもが欲しいと思えない」「自分で子供を育てられない」などの声や、子供がいることでかかる費用などの経済的理由が多数あることも分かりました。これを解決するために子供がいる生活を体験できるシミュレーションの実施と充実した子育て支援を提案します。

具体的に言うとVRゴーグルを活用した一日パパママ体験で子供を育てる大変さと楽しさの両方を伝えるということです。

これを実現させるためにVRゴーグルを作る人や映像などを制作する人はもちろん、一日パパママ体験についてのことをたくさんの人々に伝える、宣伝する仕事が必要だと思います。また、海外の子育て施策を見習って、日本も子育てしやすい環境を整える必要があると考えました。例えば、スウェーデンでは、男性育休休暇取得率が90%であり日本の2.5%に対し圧倒的に高いです。また、フランスでは公立であれば幼稚園から大学まで学費が無料で、国立大学の入学費や授業費も原則無料となっているという風に、海外には日本より手厚い子育て支援を実施している国があるとわかりました。このことを踏まえて、日本でも手厚い子育て支援を実施したらしいと考えました。具体的には、育児用品の支援です。育児用品は子供のころにしか使わないけれどとても高いものが多いです。経済的理由で子供を産むのを迷っている人にはとてもきついことだと思います。そこで私たちは育児に必要なものを支援するカタログを提案します。具体的には、子ども一人につき二百万円分の家具、家電、育児用品を選べるカタログを配布し、子供二人目以降は現金二百万円を配布することです。これによって、生活が豊かになり経済的な理由で子供を産まない選択をする人は減ると考

えます。

まとめ

少子高齢化を改善するために、まず年金を減らすことに着目し高齢者が自分で稼げるような仕事を作ることが大切なのではないかと考えました。また、子供を産む親が子供のいる生活を体験することと充実した子育て支援が大切なのではないか考えました。

これらを実現させるために未来の先端技術を活用していくとよいと私たちは考えました。

参考文献

- ・厚生労働省「令和3年度 厚生年金保険・国民年金事業の概況... - 厚生労働省」
<https://www.google.com/url?sa=i&url=https%3A%2F%2Fwww.mhlw.go.jp%2Fcontent%2F001027360.pdf&psig=AOvVaw0Kbbo4nfrL72VFYOl0Mhzv&ust=1725167696794000&source=images&cd=vfe&opi=89978449&ved=0CAYQrpoMahcKEwiA7dnNvJ6IAxUA AAAAHQAAAAAQBA>
- ・厚生労働省「年金額、年金総額」
https://www.google.com/url?sa=i&url=https%3A%2F%2Fwww.mhlw.go.jp%2Fwp%2Fhakusyo%2Fkousei%2F11-2%2Fkousei-data%2FPDF%2F23011102.pdf&psig=AOvVaw10SnGzAHv1B0mGyi7bsI9J&ust=1725167801128000&source=images&cd=vfe&opi=89978449&ved=0CAYQrpoMahcKEwiw5r3_vJ6IAxUAAAAAHQAAAAAQBA
- ・厚生労働省「教えて！公的年金制度 なぜ公的年金は必要なの？」
<https://www.google.com/url?sa=i&url=https%3A%2F%2Fwww.mhlw.go.jp%2Ftopics%2Fnkenin%2Fzaisei%2F01%2F01-01.html&psig=AOvVaw1elHqcyfdEoFaAmys31ktE&ust=1725167910469000&source=images&cd=vfe&opi=89978449&ved=0CAYQrpoMahcKEwiIjPW0vZ6IAxUAAAAAHQA AAAAQBA>
- ・ビッグローブ株式会社「「将来、子どもがほしくない」Z世代の約5割BIGLOBEが「子育てに関するZ世代の意識調査」を実施」
<https://www.google.com/url?sa=i&url=https%3A%2F%2Fwww.biglobe.co.jp%2Fpressroom%2Finfo%2F2023%2F02%2F230221-1&psig=AOvVaw35j75ZCrYqkcIsSXrmGbID&ust=1725167970279000&source=images&cd=vfe&opi=89978449&ved=0CAYQrpoMahcKEwjonaJHQvZ6IAxUAAAAAHQAAAAAQBA>
- ・総務省統計局「統計局ホームページ/令和3年/トピックス No.129 統計からみた我が国の

高齢者 —「敬老の日」にちなんで—

https://www.google.com/url?sa=i&url=https%3A%2F%2Fwww.stat.go.jp%2Fdata%2Ftopics%2Ftopi1291.html&psig=AOvVaw13eyN42YspCjZnX14C1_Om&ust=1725169005390000&source=images&cd=vfe&opi=89978449&ved=0CBUQjhxqFwoTCJCF7L7BnogDFQAAAAAdAAAAABAE

・ www.shihoshoshi-nenkin.tsknet.or.jp 「受給者のグラフ」

https://www.google.com/url?sa=i&url=https%3A%2F%2Fwww.shihoshoshi-nenkin.tsknet.or.jp%2Fgaiyou%2Ftoukei2-2.html&psig=AOvVaw01XLh_CSofnAmViXuxijxM&ust=1725168658949000&source=images&cd=vfe&opi=89978449&ved=0CBUQjhxqFwoTCICej53AnogDFQAAAAAdAAAABAJ

・ 日本でも取り入れて欲しい！外国のすごい子育て支援サービス 5 選

<https://world-family.co.jp/cetimes/one/english/article-151.html>